



《 ご挨拶 》

いつも当NPO法人地域おこしにご支援頂き感謝申し上げます。
 2004年の中越袋震災を契機に活動を開始し15年目の年となりました。
 昨年から今年にかけて大変残念な訃報が続きました。昨年6月末には池谷の長老で村おこしの牽引役であった津倉の親爺さん（曾根武さん）が闘病の末亡くなくなりました。そして年明け2月に民宿かくらのお母さん（近藤ナオさん）がくも膜下出血で亡くなり、4月には同じく一緒に頑張ってきた隠居の親爺さん（庭野功さん）が田んぼで倒れ帰らぬ人となりました。ご冥福をお祈りします。37軒から最少6軒13名にまで減少した集落が、一旦は20数名まで回復しましたが、ここに来て大きな節目を迎える事になりました。引き続き池谷集落存続の活動を進める事が故人の想いに応える事でもあると考えております。

さて、昨年は農地の引き継ぎと集落存続に欠かせない米乾燥施設（ライスセンター）がようやく完成し稼働出来ました。未だ建屋周辺の自前施工工事は残っていますが、年々増加する受託栽培面積に対応できる施設が整いました。

2020年が明けてより、新型コロナウイルス禍により世界がパンデミックに陥りました。この4月、FAO（国連食料農業機構）・WHO（世界保健機構）・WTO（世界貿易機構）は新型コロナに関して共同声明を発表し「食料品の輸出制限のうねりが起き国際市場で食料品不足が起きかねない」「ロックアウトによる農業労働者の移動制限や食料品の出荷が不可能になり混乱するリスクがある」と警告しました。食料自給率僅か37%（Calベース）の日本は食料安全保障上極めて危ういと言わざるを得ません。コロナ禍を機に農村移住を考える人が増えているとの見方も含め、今後増々農村地域の果たす役割は大きくなるものと考えます。

引き続きご支援頂きたく宜しくお願い申し上げます。

2020年6月
 特定非営利活動法人地域おこし
 代表理事 山本浩史

《 もくじ 》

ご挨拶・もくじ・職員紹介	1
私たちの活動	2
池谷・入山モデルづくり事業	3～6
地域おこし応援事業	7～8
書籍出版、youtube動画、 地域おこしの仲間募集、めぶ き入居者募集	9
会計報告	10
団体概要	裏表紙

《 職員紹介 》

